

行政改革学生アイデアソン・ハッカソン募集要項

令和 7 年 6 月 6 日
内閣官房行政改革推進本部事務局

I. 概要

内閣官房行政改革推進本部事務局（以下「行革事務局」といいます。）は、行政事業レビュー（注1）やEBPM（注2）など、政府の行政改革に関する取組を推進しています。

これまでの行政改革は、組織の再編や無駄の排斥を主眼としてきましたが、財政も行政を担う人材も増加が見込めない一方で、社会が複雑化し、行政への要請が多様化しています。そのため、従来の行政改革思考から転換し、EBPMやデジタル・AIを活用した新たな行政改革のアプローチが必要です。

そこで、行政事業レビューシート（以下「レビューシート」といいます。2024年度は5664シート）のデータを元に、行政が持つデータの新たな利活用法や政策立案の新たな考え方などを柔軟な発想を取り入れながら探索するため、「行政改革学生アイデアソン・ハッカソン（以下「本ハッカソン」といいます。）」を開催します。

注1：行政事業レビューとは：

行政事業レビューは、EBPM(エビデンス（根拠）に基づく政策立案)の推進が、政策判断の精度を向上させ、自らの政策立案に資することを踏まえ、各府省庁自らが、自律的にEBPMの手法等を用いて、事業の進捗や効果について成果目標に照らした点検を行い、事業の改善、見直しにつなげるとともに、予算が最終的にどこに渡り、何に使われたかといった実態を把握し、外部の視点も活用しながら、過程を公開しつつ事業の内容や効果の点検を行い、その結果を予算の概算要求や執行等に反映させ、またレビューシートを予算編成過程で積極的に活用することで、事業の効果的、効率的な実施を通じ、無駄のない、質の高い行政を実現するものです。

令和6年度から「行政事業レビュー見える化サイト」において、各府省庁が作成したレビューシートを一元的に公表し、利用者の関心に応じた検索や集計・分析を可能としています。

（参考）政府の行政改革 - 行政事業レビュー

<https://www.gyokaku.go.jp/review/review.html>

注2：EBPMとは

EBPM（Evidence-Based Policy Making: エビデンスに基づく政策立案）とは、①政策目的、②その目的達成のために効果的な政策手段、③政策手段と目的の論理的なつながり（ロジック）を明確にし、さらに、④このつながりの裏付けとなるデータ等の

エビデンス（根拠）を可能な限り求めることで、政策立案・実施・評価を実証的なものとし、政策の実効性や効率性を高めていく手法です。

II. 取り組んでいただきたいテーマ

本ハッカソンの目的を踏まえた以下の3つのテーマで、レビューシート of データを活用した作品を幅広く募集します。以下に検討の方向性の例示を記載しますが、これらに限らず、レビューシート of データの利活用方法や政策立案の考え方等を自由に検討ください。

1. データの新たな利活用法

- レビューシート of データを可視化。
- レビューシート of データと他の公的データ等を組み合わせることで、これまで見えてこなかった社会の姿を浮き彫りにする。

2. 政策立案や行政サービスの新たな考え方

- レビューシート of データや他の公的データ等の分析から示唆を得て、将来の政策立案の方法を検討。
- レビューシート of データや他の公的データ等を分析し、効果的な行政サービスやその提供方法等を検討。

3. 社会課題に対する新たな解決策

- 身近な地域の課題などの自身が関心のある社会課題について、レビューシート of データや他の公的データ等を使いながら、効果的な解決策を検討。

III. 選考について

1. 部門賞

本ハッカソンでは以下の部門賞を選出します。

• データ利活用部門賞

レビューシート or 他のオープンソースのデータと組み合わせて分析・活用することで、新たな価値を生み出す取組

• 政策立案・課題解決部門賞

政策立案におけるデータ利活用の在り方を検討する取組や、社会課題に対する効果的な解決策を、データを用いて検討する取組

• 技術活用部門賞

データ分析やプロトタイプにおける技術の活用が創造的である又は技術水準が高い取組（なお、本ハッカソンは、プロトタイプ開発を必須とするものではありません）

2. 選考委員

以下5名の選考委員による合議制により各部門賞が決定されます。

大屋 雄裕 慶応義塾大学法学部教授

小野 陽子 大妻女子大学データサイエンス学部教授

瀧 俊雄 株式会社マネーフォワード 執行役員グループ CoPA

中川 正洋 ポストン コンサルティング グループ マネージング・ディレクター&パートナー

村上 将一 株式会社松尾研究所 取締役 AI 開発事業ディレクター

IV. 開催スケジュール

本ハッカソンは令和7年6月から11月（予定）までの期間に開催します。開催期間中、参加者ごとの環境下でテーマの検討を行っていただきます。イベントの詳細や予定の変更については、参加が決定した方のメールアドレス宛に連絡します。

1. Hack Day 【8月30日 - 31日】

（開催方法：対面形式、会場は東京都千代田区内）

- 取り組むテーマについて検討やプロトタイプの開発を行う。
- チームごとに、検討の成果や開発したプロトタイプに関するプレゼンテーションを実施する。
- Award Day へ進出するファイナリストを5チーム程度選出予定。
- 当日はクラウドサービスプロバイダーのエンジニア等のメンターへの相談が可能。

※ 各チームのプレゼンテーションの概要は、後日、行革事務局のHPで紹介する予定です。

※ 当日はメディアの取材が入る可能性があります。

2. Boost-up Day 【10月（予定）】

（開催方法：オンライン形式を予定）

Award Day 進出のファイナリストに対して、メンターへの相談が可能。

3. Award Day 【11月（予定）】

（開催方法：対面形式、会場は東京23区内を予定）

- ファイナリストによる最終のプレゼンテーションを実施。

- 審査により各部門賞を選出。
- ※ Award Day はインターネットによる同時配信を予定しています。また、当日はメディアの取材が入る可能性があります。

V. 参加方法

1. 応募対象者

学生（高校生を含む。以下同じ）個人又は学生のみで構成されるチーム

※チームのメンバー数は3人程度を想定していますが、お一人での応募も可能です。

なお、会場都合により、チームメンバーの数は5人を上限とします。

※行革事務局でチーム編成・組成を希望する場合、その旨お知らせください。

2. 応募受付期間

令和7年6月6日（金）19時00分から6月30日（月）23時59分まで

3. 応募方法

参加を希望される方は、以下の参加申込フォームから応募ください。また、応募に当たっては、必ず4. 留意事項をご確認ください。

【参加申込フォーム】

https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=_6DkBnJji0qvMEVxNh0TRNr1I4QQIb pJuqWTNrwN7nNUMIZIM1NaT0JGVEc2TFQ4Q0tNRjVRQkJOQi4u

応募数により、全ての方に参加いただくことが難しい場合は、行革事務局で参加申込フォームから提出いただいた内容を踏まえ、参加者を決定しますのでご了承ください。参加可否の連絡は、令和7年7月22日（火）までに参加申込フォームからお申し込んだ方（チームでご参加される場合は、チーム代表者の方）に結果をフォームに登録されたメールアドレスにお送りします。

4. 留意事項

参加にあたっては、行政改革学生アイデアソン・ハッカソン参加規約を全て承諾した上でご応募ください。

VI. 問い合わせ先

ご不明な点がありましたら、本ハッカソンに関する以下のお問い合わせフォームからお問い合わせください。

【お問い合わせフォーム】

https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=_6DkBnJji0qvMEVxNh0TRNr1I4QQIbPJugWTNrwN7nNURFA4UEpaMTc4VIVHOVJLNEVMMEdBm1hXQy4u